ながさき 県議会だより

6月定例会

かんばくん　らんぼちゃん

瀬川　光之

〈議長就任あいさつ〉

長崎県議会議長にご選任いただきました瀬川光之でございます。

本県では、人口減少対策が県政の最重要課題となっており、若い世代の県内定着に向けた取り組みの強化等が必要であります。また、このほかにも九州新幹線西九州ルートの整備やIRの導入など、山積する諸課題に対し、県民の県議会に対する願いは大きなものがあり、県議会の役割は極めて重要であると存じております。

私は、地方議員として30年、日々「国を支えて国を頼らず」、その言葉を胸に刻みながら活動をしてまいりました。改めて、県民の皆様方の目線に立ち、寄り添い、県民の負託にこたえられるような県議会であることを切に願っております。

未熟者ではありますが、どうか、県民の皆様方のご指導をお願い申し上げます。

西川　克己

〈副議長就任あいさつ〉

長崎県議会副議長にご選任いただきました西川克己でございます。

微力ではありますが、瀬川議長の少しでも支えになればと努力をする覚悟でございます。

そして、人口減少対策など山積する長崎県政の課題を、議員皆様のお力をお借りし、また、議会の融和を図りながら解消に努め、皆様ともども中村県政推進に力を尽くす覚悟でございます。

今後とも、県民の皆様方のご指導、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

審査した案件と結果

知事提出の議案

・予算　2件(可決)　・条例　16件(可決)　・事件　7件(可決)
・人事　2件(同意)　・専決　16件(承認)　・諮問　1件(棄却すべき)

議員等提出の案件

・議員派遣　1件(可決)　・意見書　3件(可決)

可決された意見書

○地方財政の充実・強化を求める意見書
○教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
○精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書

令和元年6月定例会にて活発な論議が交わされました

令和元年6月定例会は、6月17日から7月10日まで開かれました。

本会議初日は、「令和元年度長崎県一般会計補正予算(第1号)」などの議案が上程され、中村知事が県政の重要事項について報告し、当面する諸課題について所信を述べるとともに、提出議案について提案理由の説明を行いました。

一般質問では、12名の議員が登壇し、九州新幹線西九州ルートの整備促進、特定複合観光施設(IR)区域整備、人口流出対策、農林水産業の振興対策、道路・港湾整備等の土木行政、教育行政など様々な事項について活発な論議が交わされました。

補正予算については、国庫補助事業の内示に伴う事業費の追加のほか、幼児教育・保育の無償化に要する経費、JR佐世保線の高速化に必要な地上設備の整備に要する経費、「長崎県犯罪被害者等支援条例」の周知・啓発に要する経費などについて編成され、一般会計134億2,829万2千円の増額、特別会計で6,600万円の増額補正となりました。

本定例会では、44件の議案を原案のとおり可決、承認、同意するとともに、1件の諮問議案を棄却すべきと決定し、また、「精神障害者に対する交通運賃割引制度の適用を求める意見書」など3件の意見書を可決し閉会しました。

常任委員会

総務委員会　委員長／中島 浩介

【質問】特殊詐欺被害の最近の傾向と被害防止のため貸与している自動通話録音機の活用状況は。
【答弁】認知件数は減少傾向にあるものの、被害額は増加しており、手口別では、架空請求詐欺が認知件数、被害総額ともに最多で、被害者の5割が65歳以上となっている。また、自動通話録音機950台を全警察署に配分し、過去に被害に遭った高齢者等へ貸与するとともに、自主的な購入措置を進めるなど機器の普及に努めていきたい。
【主な論議事項】世界遺産の構成資産について／九州新幹線西九州ルートのフル規格整備に向けた取組について／テレビ会議システムについて／五島産業汽船の航路問題等について／県庁舎跡地の遺構発掘調査の方向性等について　等

文教厚生委員会　委員長／ごう まなみ

【質問】部活動指導員の配置状況は。教職員の働き方改革にもつながるが、推進していくのか。
【答弁】今年度は、県立高校に11名、中学校に1名、市町立中学校に21名を配置予定。県立学校については、本県の運動部活動ガイドライン遵守や、教職員の負担軽減の取組などを要件として配置した。市町立中学校では、財政負担や人材確保の問題から、配置が難しいと判断している市町がある。今後5年間で全ての公立中学、高校に配置できるよう予算確保に努めていきたい。
【主な論議事項】県立大学の県内就職率向上への取組について／私立学校生徒の自死事案について／若年性認知症に対する相談窓口について／幼児教育・保育の無償化に伴う副食費の取扱について　等

環境生活委員会　委員長／坂本　浩

【質問】長崎県犯罪被害者等支援条例に関し、犯罪被害者等の支援対象範囲はどこまでか。経済的負担の軽減について、どのような検討をしているか。
【答弁】犯罪被害者等の定義は、犯罪被害者基本法と同一であり、支援の必要性については個々の事案によって判断する。経済的負担の軽減については、国の犯罪被害給付制度のほか、県警や県が行う被害直後の医療費及びカウンセリング等の公費負担制度等の情報提供と迅速な手続きに努めたい。
【主な論議事項】最低制限価格の見直しについて／諫早湾干拓調整池の水質改善について／太陽光発電施設と環境保護について／高齢者の交通事故防止対策について／長崎・諫早バスターミナルの移転について　等

農水経済委員会　委員長／大場 博文

【質問】長崎県森林環境譲与税基金条例に関し、国が新たな森林管理システムを推進しようとする中、市町に対してどのような支援を行っていくのか。
【答弁】新システムの導入は、森林所有者や境界の不明等、根本的な課題がある中、森林現場に一番近い市町に役割を担ってもらうことが、その趣旨である。県としては、市町担当職員への研修や、様々な課題に対応したマニュアルの作成のほか、市町の職員をサポートする地域林政アドバイザーを育成する等の支援を行っていきたい。
【主な論議事項】財産の取得について／海洋エネルギー関連産業の創出促進について／クロマグロの資源管理について／農業分野における外国人材の受入について　等

予算決算委員会　委員長／浅田 ますみ

【質問】県庁舎跡地整備の基本構想の策定については、様々な角度から検討し、多くの方々に理解をいただけるような構想にしてもらいたいが、コンサルタントへの委託内容はどういったものになる予定なのか。
【答弁】基本構想の委託内容については、賑わいを創出する事例の収集や、活性化の方策による経済波及効果の積算、また、県民から意見を聞くためのワークショップの運営等を予定している。
【主な論議事項】保育士修学資金貸付等事業補助金について／港湾修築計画等調査費について／公共事業における経済対策分の経済波及効果について　等

一般質問

九州新幹線西九州ルートの整備促進について

溝口　芙美雄〈佐世保市・北松浦郡/自由民主党・県民会議〉

【質問】新鳥栖～武雄温泉間の整備について、与党PTの西九州ルート検討委員会での本県の主張内容と、本県と佐賀県との協議状況は。
【答弁】与党PTの検討委員会に対しては、フル規格による整備方針の早期決定、地方負担や並行在来線等の課題解決に向けた方策を示すこと、環境影響評価調査費の来年度予算への計上等について強く求めた。佐賀県知事とは機会を捉えて意見交換を重ねているが、さらに佐賀県内の議論や理解が深まるよう両県での協議を進めていきたい。

拉致問題について

外間　雅広〈佐世保市・北松浦郡/自由民主党〉

【質問】拉致問題の解決に向けた県の考えと解決に向けての今後の取組は。
【答弁】国民が心を一つにして、全ての拉致被害者の方々の一日も早い帰国実現への意思を示していくことが重要。これまでも長崎県拉致問題早期解決議員連盟等と連携し、街頭署名活動や映像作品の上映会の開催などの啓発に取り組んできた。今後とも、県民の皆様に、より一層関心と理解を深めていただけるよう、市町と一体となって啓発活動を展開し、解決に向けた県民世論の喚起を図っていく。

社会保障費について

山口　初實〈諫早市/改革21〉

【質問】団塊の世代が75歳以上となる2025年問題がやってくるが、超高齢化社会に対する認識は。
【答弁】健全な財政運営維持の取組と、社会保障にかかる負担の適正化が一層求められていると認識している。そのため、地域包括ケアシステムの構築や効率的で質の高い医療提供体制の整備を進めている。また、医療費の適正化に資する施策を推進し、今後とも持続可能な社会保障制度の構築に向けて、国、地方が一体となって取り組んでいく必要があると考えている。

西彼杵道路の継続的取組について

山口　経正〈西彼杵郡/自由民主党・県民会議〉

【質問】西彼杵道路の未着手区間の取組状況と、時津工区完成により交通量の増加が見込まれる町道子々川日並線の安全対策は。
【答弁】未着手区間の大串から日並までの約20㎞については、時津工区完成後、速やかに着手できるよう今年度から概略ルートや整備の優先順位を検討していく。町道子々川日並線については、時津町が道路改良工事を進めており、安全な整備が実施されるよう、町や警察と十分に連携を図っていく。

企業誘致の推進について

松本　洋介〈大村市/自由民主党〉

【質問】企業誘致にかかる職員の増員や予算の増額により企業誘致を成功させ、設備投資や雇用増、税収増といった成長戦略に取り組むべきと考えるが、いかがか。
【答弁】長崎県産業振興財団において、離島への誘致専門職員や職員採用を支援する専門職員を配置するなど、体制強化を図ってきている。企業が求める人材育成にも力を入れていくとともに、航空機関連産業やロボット・IoT関連産業など、今後の成長が期待される分野の誘致に向けて、引き続き、全力で取り組んでいきたい。

堂崎埋立地について

中村　一三〈南島原市/自由民主党・県民会議〉

【質問】堂崎埋立地について、円滑な分譲等のためには、竣工前の土地利用計画の変更が必要と考えるが、県としてどのように対応するのか。
【答弁】堂崎埋立地の土地利用計画は、平成9年の旧有家町による策定から20年以上が経過している。社会情勢の変化もあることから、計画の見直しが必要と考えられるため、現在、県・南島原市で協議の場を設置し、連携して見直しを行っており、県も引き続き協力していく。

長崎市における農地の基盤整備について

浦川　基継〈長崎市/自由民主党〉

【質問】長崎市の農業振興を図るため県が率先して農地の基盤整備を進める必要があると考えるが県の見解は。
【答弁】基盤整備の推進には何よりも地域の合意形成が必要であり、農家に身近な地元市町が主体となり働きかけることが重要である。県は関係機関で構成する推進チームに参画し、事業制度の勉強会や意向調査の実施とともに、整備後の営農確立に向けた課題を共有しながら集落の将来像を話し合うなど地域へ働きかけていきたい。

長崎港の2バース化及び客船母港化について

中村　泰輔〈長崎市/改革21〉

【質問】長崎港を更に活用するための2バース化及び客船母港化について県の考えは。
【答弁】2バース化は、今年度、国で事業化検証調査費が計上され、新規事業化に向けて大きく前進した。引き続き、事業採択に向け全力で取り組んでいく。また、クルーズ船のメンテナンス事業への参入を検討されている造船会社もあり、ドック入り前後に宿泊を伴う発着クルーズの増加が期待される。県も連携し、しっかりと構想の実現に向けて力を注いでいきたい。

特定複合観光施設(IR)区域整備について

田中　愛国〈佐世保市・北松浦郡/自由民主党・県民会議〉

【質問】IR誘致後に交通量の増大が予想されるが、どのような対策、周辺整備を考えているか。
【答弁】一般県道ハウステンボス線については、IR誘致で想定される交通量予測の検討が必要である。国が進める針尾バイパス4車線化事業については、今年度、江上高架橋が完成する予定で、残るハウステンボス入口交差点までの約2㎞は、早期整備を国に働きかける。入口交差点からハウステンボス駅前までの4車線化及び駅前整備については、国や関係機関と協議が必要と考えている。

Vファーレン長崎新スタジアム設立に伴った交流人口拡大について

下条　博文〈長崎市/自由民主党〉

【質問】長崎ロープウェイ延伸など、スタジアム設立に伴う交流人口拡大について、県としてのスタンスは。
【答弁】スタジアムを訪れる観光客に、県内を広域で周遊してもらえるよう、他の地域の観光素材の情報発信や旅行会社への働きかけを進めるなど、効果が県内に広く波及するように取り組む。また、今回のプロジェクトと相乗効果を発揮できる魅力ある観光まちづくりも重要であるため、長崎市の主体的な取組を後押ししていきたい。

公立夜間中学の設置に向けた取組について

宮本　法広〈佐世保市・北松浦郡/公明党〉

【質問】本県においても、未就学者や不登校など様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業された方、外国籍の方などに対して学び直しの機会を増やすという観点から夜間中学を設置すべきと考えるが、いかがか。
【答弁】各市町には夜間中学の趣旨を十分踏まえた上で、実情に応じたニーズの把握等に積極的に取り組んでもらえるよう働きかけていく。また、広域的に対応するという観点から、県立としての設置も含めて検討していく。

米軍人による基地外への武器持ち出しなどの事件について

山田　博司〈五島市/県民・島民の会〉

【質問】アメリカ軍人による基地外への武器持ち出し事件及び日本人警備員の基地外への銃携帯行動事件のいずれも、知事本人による直接の抗議が行われていないが、事件の重大さを鑑みると、知事又は副知事が直接抗議すべきでは。
【答弁】このような事態の発生は、県民が安心して安全な暮らしを送る上で、決してあってはならず、今後も、あらゆる機会を捉えて、再発防止を求めるとともに、より厳正に対処していきたい。

常任委員会・議会運営委員会並びに特別委員会委員名簿(令和元年5月13日現在)

委員会	委員長	副委員長	委　員
総務委員会(11名)	中島　浩介	山下　博史	小林　克敏　中島　廣義　浅田ますみ　川崎　祥司　深堀ひろし　松本　洋介　吉村　洋　下条　博文　中村　泰輔
文教厚生委員会(11名)	ごうまなみ	中村　一三	前田　哲也　山本　啓介　大久保潔重　山本　由夫　山口　経正　宮島　大典　宮本　法広　堤　典子　北村　貴寿
環境生活委員会(11名)	坂本　浩	石本　政弘	八江　利春　中山　功　坂本　智徳　外間　雅広　中村　和弥　西川　克己　山口　初實　宅島　寿一　饗庭　敦子
農水経済委員会(12名)	大場　博文	浦川　基継	田中　愛国　溝口芙美雄　徳永　達也　山田　博司　堀江ひとみ　山田　朋子　麻生　隆　近藤　智昭　久保田将誠　赤木　幸仁
予算決算委員会(45名)	浅田ますみ	宅島　寿一	議長、正副委員長を除く全議員

委員会	委員長	副委員長	委　員
議会運営委員会(13名)	中村　和弥	山本　啓介	溝口芙美雄　外間　雅広　前田　哲也　深堀ひろし　大久保潔重　吉村　洋　坂本　浩　大場　博文　宮本　法広　饗庭　敦子　久保田将誠
離島・半島地域振興特別委員会(10名)	近藤　智昭	山口　経正	中山　功　坂本　智徳　山田　博司　堀江ひとみ　山口　初實　中島　浩介　ごうまなみ　中村　一三
IR・観光振興対策特別委員会(10名)	松本　洋介	宮島　大典	田中　愛国　浅田ますみ　西川　克己　麻生　隆　石本　政弘　堤　典子　山下　博史　下条　博文
九州新幹線西九州ルート・交通対策特別委員会(10名)	八江　利春	川崎　祥司	小林　克敏　中島　廣義　徳永　達也　宅島　寿一　浦川　基継　北村　貴寿　中村　泰輔　赤木　幸仁

『がん検診受診啓発街頭キャンペーン』を実施しました!(7月1日 於:浜町アーケード)

県議会は、がん検診の受診率向上の啓発活動を行っており、今回で11回目の実施となりました。本県のがん死亡率は残念ながら全国ワースト9位ですが、がん検診を受診することにより、生存率が大幅に改善することが期待されます!命を守るためには、がんの早期発見・早期治療が大変重要です。健康な体で長生きできるよう、年に1回は、がん検診を受けましょう!!

お知らせ

テレビ放送
令和元年5月臨時会及び6月定例会の模様をまとめた「県議会リポート」を放送します
◎8月3日(土)16:55～　◎NCC長崎文化放送　5ch

動画配信
本会議・委員会のインターネット中継・録画配信を行っています
長崎県議会　検索

提供／長崎県議会　お問い合わせ先／議会事務局(政務調査課)　TEL095(894)3634